

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード
 コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鎌田 清

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト様向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,950	25.3	480	44.8	433	34.1	195	△67.4
25年3月期第2四半期	7,141	18.4	331	165.8	323	243.3	600	426.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 162百万円 (△72.4%) 25年3月期第2四半期 589百万円 (304.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	25.40	—
25年3月期第2四半期	77.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	20,247	6,653	32.9	863.85
25年3月期	20,349	6,644	32.7	862.71

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,653百万円 25年3月期 6,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	19.7	940	10.8	820	7.7	440	△54.6	57.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,112,000 株	25年3月期	9,112,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,409,773 株	25年3月期	1,409,763 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	7,702,233 株	25年3月期2Q	7,702,263 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照して下さい。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

平成25年12月6日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。その、説明会の資料は、翌日までにTDnet及び当社ホームページにて開示・掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融対策を背景とした円安株高の進行や、設備投資の持ち直しが見られる等、景気は回復基調を辿っているものの、消費税増税、企業収益向上と賃金引き上げの連動といった課題も取り沙汰される等、本格的な個人消費の回復が待たれる状況にあります。

コンタクトレンズや眼鏡業界、とりわけ眼鏡業界におきましては、均一価格販売といったスタイルが定着し小売市場の収益構造は大きく変化をしております。コンタクトレンズ業界においては、うるおい成分、ファッション系のサークルレンズや遠近両用タイプといった付加機能、付加価値を備えたコンタクトレンズが成長しており、眼鏡においても、PC用等といった用途に特化した機能アイテムが好調な推移を示す等、市況は細分化しつつ再成長の様相を示し始めております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、平成26年3月期を『世界に通用する“日本のシード”』の礎を築くための3ヶ年中期経営計画の起点と位置付け、伸長する市場へ積極的に経営資源を投下し、「個別店舗戦略の徹底と新規顧客の獲得」、「生産能力の増強と新商品開発」、「商品施策（オンリーワン商品の拡大）の展開」、「新しい挑戦」の4方針を遂行することで、収益性のさらなる向上、事業基盤の強化に努めております。

この結果、使い捨てコンタクトレンズカテゴリーが前年同期比44.8%（当社卸売ベース）の伸長を遂げ、当社グループの業績を牽引いたしました。これにより、グループ全体の売上高は8,950百万円（前年同期比25.3%増）、営業利益480百万円（前年同期比44.8%増）、経常利益433百万円（前年同期比34.1%増）と増収増益となりましたが、四半期純利益につきましては、9月に発生した製品の一部自主回収に伴う回収関連損失63百万円の計上や、税負担の増加、また、前年同期の特別利益には受取和解金462百万円の計上があったこと等により、195百万円（前年同期比67.4%減）と減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（コンタクトレンズ・ケア用品）

コンタクトレンズ・ケア用品につきましては、純国産1日使い捨てコンタクトの「シードワンデーピュアうるおいプラス」、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と、新たに投入をいたしましたサークルレンズ「ヒロインメイクワンデーUV」を柱にして、国産の品質力や独自の付加価値といったアピールポイントを前面に積極的な営業活動を展開してまいりました。

また、遠近両用タイプの1日使い捨てコンタクト「シードワンデーピュアマルチステージ」を筆頭に、同カテゴリのラインアップ（1日使い捨て、2週間交換、ハード）のPRや、シードアイコフレワンデーUVの1周年イベント等によるブランド認知策を展開することで、さらなる売上の拡大に努めてまいりました。

ケア用品においても、コンタクトレンズ装着液「シードロップ」を投入し、売上確保を図ってまいりました。

これにより、ワンデーピュアシリーズが約31%（当社卸売ベース）伸長したことや、前期6月より取扱いを開始しております「シードアイコフレワンデーUV」が上期を通して寄与したこと等により、売上高は8,175百万円（前年同期比29.5%増）となりました。広告宣伝費等、積極的に販売費用を投下いたしましたが、粗利益の増額分で賄えたことで、営業利益は758百万円（前年同期比32.5%増）と増収増益基調を維持することができました。

（眼鏡）

眼鏡につきましては、主力フレームの「ビビッドムーン」、「プラスミックス」の春夏モデルの投入等によって当社単体（卸売ベース）の売上高では前年同期を上回っているものの、子会社の㈱タワービジョンが展開する小売部門において、市場競争激化に伴う販売単価の下落や顧客離れによる減収が影響したために、グループ全体の売上高も591百万円（前年同期比4.5%減）と減収となりました。

販売単価下落による減収や、秋冬モデル投入に伴う販促費用の一部前倒し計上等もあり、営業損失は7百万円（前年同期営業損失22百万円）となりました。

（その他）

その他につきましては、眼内レンズや子会社の携帯電話部門ともに販売競争激化によって販売が伸び悩み、売上高全体は182百万円（前年同期比11.5%減）となりました。損益につきましては、不採算店舗の整理・合理化策によって、営業損失32百万円（前年同期営業損失39百万円）となり、改善の兆候が見られ始めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、20,247百万円となり、前連結会計年度末から101百万円の減少となりました。主な要因として、設備導入の支払い等に伴う現金預金の減少439百万円(1,169百万円から729百万円)や店舗解約に伴う敷金の減少154百万円(226百万円から72百万円)があった一方、適正水準に向けての在庫投資によるたな卸資産の増加431百万円(2,661百万円から3,093百万円)があったこと等が挙げられます。

負債につきましては、13,594百万円となり、109百万円の減少となりました。主な要因として、設備導入に伴う設備支払手形が652百万円減少した一方で、短期借入金が497百万円増加(2,637百万円から3,134百万円)したことが挙げられます。

純資産につきましては、6,653百万円と8百万円の増加となりました。主な要因として、利益剰余金の増加41百万円、その他有価証券評価差額金の減少36百万円が挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、729百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、468百万円(前年同期1,181百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上435百万円及び減価償却による内部留保750百万円であります。また、資金減少の主な要因は、適正水準に向けての在庫投資によるたな卸資産の増加431百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、826百万円(前年同期794百万円の支出)となりました。資金増加の主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入144百万円であります。また、資金減少の主な要因は、鴻巣研究所の製造ライン増設等に伴う有形固定資産の取得による支出1,087百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、85百万円(前年同期121百万円の支出)であります。資金増加の主な要因は、短期借入金の純増減額360百万円及び長期借入れによる収入700百万円であります。資金減少の主な要因は、長期借入金の返済671百万円、配当金の支払152百万円及びリース債務の返済321百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要等が予想されますが、現時点では、その推移を注視している状況ですので、平成25年8月12日付にて発表いたしました連結業績予想から変更はありません。今後の消費動向をはじめ、多方面から慎重に精査を進めたのち、業績への影響が見込まれると判断した際には速やかに開示をまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,169,329	729,541
受取手形及び売掛金	2,667,783	2,790,543
商品及び製品	2,170,651	2,552,152
仕掛品	184,696	242,205
原材料及び貯蔵品	306,559	298,917
未収入金	232,113	299,422
その他	1,079,775	1,143,749
貸倒引当金	△93,810	△80,134
流動資産合計	7,717,098	7,976,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,758,017	2,763,151
機械装置及び運搬具(純額)	1,415,731	1,542,868
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,020,363	3,111,720
建設仮勘定	223,026	33,036
その他(純額)	233,248	251,884
有形固定資産合計	11,199,097	11,251,371
無形固定資産	85,989	77,581
投資その他の資産	1,346,919	942,612
固定資産合計	12,632,006	12,271,566
資産合計	20,349,105	20,247,964
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	924,359	970,069
短期借入金	2,637,570	3,134,735
リース債務	605,628	663,140
未払法人税等	114,116	111,651
賞与引当金	223,880	284,100
製品保証引当金	42,100	46,260
その他	2,035,545	1,276,227
流動負債合計	6,583,199	6,486,184
固定負債		
長期借入金	3,584,832	3,476,299
リース債務	2,495,018	2,548,896
退職給付引当金	980,039	1,005,072
役員退職慰労引当金	58,199	73,620
その他	3,000	4,290
固定負債合計	7,121,088	7,108,177
負債合計	13,704,287	13,594,362

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	2,474,160	2,474,160
利益剰余金	2,676,920	2,718,496
自己株式	△445,553	△445,562
株主資本合計	6,546,806	6,588,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,088	55,316
為替換算調整勘定	5,922	9,911
その他の包括利益累計額合計	98,010	65,227
純資産合計	6,644,817	6,653,601
負債純資産合計	20,349,105	20,247,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,141,354	8,950,085
売上原価	3,804,740	4,946,790
売上総利益	3,336,613	4,003,294
販売費及び一般管理費	3,004,623	3,522,412
営業利益	331,989	480,881
営業外収益		
受取利息	976	498
受取配当金	4,862	3,683
為替差益	8,320	7,888
その他	61,111	16,525
営業外収益合計	75,270	28,595
営業外費用		
支払利息	37,194	65,889
その他	46,531	9,641
営業外費用合計	83,726	75,531
経常利益	323,534	433,946
特別利益		
受取和解金	462,595	—
投資有価証券売却益	—	78,520
特別利益合計	462,595	78,520
特別損失		
投資有価証券評価損	5,137	—
固定資産除却損	10,368	—
減損損失	322	—
製品回収関連損失	—	63,860
関係会社整理損	—	12,755
その他	1,911	—
特別損失合計	17,740	76,616
税金等調整前四半期純利益	768,388	435,849
法人税、住民税及び事業税	152,356	90,208
法人税等調整額	15,820	150,020
法人税等合計	168,176	240,228
少数株主損益調整前四半期純利益	600,212	195,620
四半期純利益	600,212	195,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	600,212	195,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,820	△36,772
為替換算調整勘定	1,874	3,989
その他の包括利益合計	△10,945	△32,783
四半期包括利益	589,267	162,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,267	162,837
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	768,388	435,849
減価償却費	522,204	750,206
減損損失	322	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,613	△13,193
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	38,854	25,033
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,750	60,220
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	41,400	4,160
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,923	15,421
受取利息及び受取配当金	△5,839	△4,181
支払利息	42,514	65,889
固定資産除却損	10,368	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△78,520
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,137	—
和解金	△462,595	—
関係会社整理損	—	12,755
売上債権の増減額 (△は増加)	△60,072	△127,725
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△152,009	△431,367
仕入債務の増減額 (△は減少)	78,332	45,710
その他	△63,592	△120,080
小計	828,473	640,177
利息及び配当金の受取額	5,839	4,181
利息の支払額	△40,431	△67,152
法人税等の支払額	△74,951	△108,653
和解金の受取額	462,595	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,181,524	468,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△795,524	△1,087,834
投資有価証券の取得による支出	△530	△548
投資有価証券の売却による収入	—	108,763
貸付金の回収による収入	18,105	13,987
敷金及び保証金の回収による収入	220	144,258
関係会社株式の取得による支出	△3,207	—
その他	△13,246	△5,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△794,184	△826,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	360,000
長期借入れによる収入	2,200,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△618,522	△671,366
社債の償還による支出	△1,500,000	—
自己株式の取得による支出	—	△8
配当金の支払額	△76,175	△152,513
リース債務の返済による支出	△146,780	△321,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,478	△85,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,913	3,970
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	267,775	△439,788
現金及び現金同等物の期首残高	947,372	1,169,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,215,148	729,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,315,522	619,064	6,934,586	206,767	7,141,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,315,522	619,064	6,934,586	206,767	7,141,354
セグメント利益又は損失(△)	572,572	△22,383	550,188	△39,414	510,773

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	550,188
「その他」の区分の損失(△)	△39,414
全社費用(注)	△178,784
四半期連結損益計算書の営業利益	331,989

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
減損損失	241	80	321	1	322

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,175,880	591,227	8,767,107	182,977	8,950,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,175,880	591,227	8,767,107	182,977	8,950,085
セグメント利益又は損失（△）	758,589	△7,501	751,088	△32,849	718,238

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	751,088
「その他」の区分の損失（△）	△32,849
全社費用（注）	△237,356
四半期連結損益計算書の営業利益	480,881

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。